

市民の皆さまへ

庄原市役所 口和支所長
(総務係)

Tel. 0824-87-2111

fax. 0824-87-2057

行政文書の発行について

令和6年9月20日付けの行政文書をつぎのとおり発行します。



<回 覧>

1	住宅リフォーム支援事業のご案内	環 境 建 設 部 都 市 整 備 課
2	平成30年から令和5年までに発生した災害の復旧状況 No.35	環 境 建 設 部 建 設 課
3	令和6年度市町村設置型浄化槽・補助金型浄化槽の 申込受付期間延長のお知らせ	環 境 建 設 部 下 水 道 課
4	しょうばら脱炭素地域推進ニュース	環 境 建 設 部 環 境 政 策 課
5	庄原市上野総合公園だより	上 野 総 合 公 園
6	庄原さくらスポーツクラブだより	教 生 涯 育 学 部 涯 育 学 習 課
7	総合体育館だより	教 生 涯 育 学 部 涯 育 学 習 課
8	国営備北丘陵公園イベントのご案内	企 画 振 興 部 商 工 観 光 課
9	庄原でいきいき働く就職ガイダンス「合同企業面接会」	企 画 振 興 部 商 工 観 光 課
10	秋の全国交通安全運動	総 務 管 理 部 危 機 管 理 課
11	令和6年度庄原市教育フォーラム	教 育 指 導 部 教 育 指 導 課
12	よちよち通信	口 和 子 育 て 支 援 セ ン タ ー
13	第14回 口和健康ふくし祭 わいわいフェスタ	口 和 支 所 市 民 生 活 係

<各戸配布>

1	新型コロナワクチン予防接種(高齢者等)実施の お知らせ	生 活 福 祉 部 保 健 医 療 課
2	インフルエンザ予防接種(高齢者等)実施のお知らせ	生 活 福 祉 部 保 健 医 療 課
3	海上自衛隊呉音楽隊 庄原市演奏会	教 生 涯 育 学 部 涯 育 学 習 課
4	元気かわら版 vol.211	庄 原 市 社 会 福 祉 協 議 会 口 和 地 域 セ ン タ ー
5	ふれあいひろば	口 和 自 治 振 興 区
6	防災だより	口 和 自 治 振 興 区
7	#口和が好き	口 和 自 治 振 興 区

10月

よちよち通信



虫の声や色づく稲穂に、秋の気配を感じる頃となりました。昼夜の気温差が大きいので、健康面に気を付けながら、秋を楽しみましょう。



令和6年9月21日

発行：口和子育て支援センター（口和老人福祉センター内）
庄原市口和町永田 415-4 TEL0824-89-7070

一般社団法人里山こども未来会議
庄原市西本町 2-8-11 TEL0824-74-6636

口和支所地域振興室市民生活係
庄原市口和町向泉 942 TEL0824-87-2112

【開設日・時間】

●口和子育て支援センター●
月曜日、水曜日、木曜日（祝日を除く）

●比和子育て支援センター●
金曜日（祝日を除く）

●高野子育て支援センター●
火曜日（祝日を除く）

いずれも 9:00~12:00 13:00~15:00

3町交流会 子育て広場（高野・比和・口和）

日 時：10月1日（火） 10:00~12:00

場 所：高野子育て支援センター（高野保健福祉センター内）

講 師：稲垣 孝治さん（稲垣カイロハウス）

参加申込：右連絡先のいずれかに電話で
お申込みください

申込締切：9月24日（火）

☆『カイロプラクティック講座』

夏の疲れがたまっていますか？一緒に身体を動かして
リフレッシュしましょう。

3町交流会です。親子での交流も楽しみましょう。

地域名	連絡先(電話番号)
口和地域	口和支所(87-2112)
	口和子育て支援センター(89-7070)
高野地域	高野支所(86-2115)
	高野子育て支援センター (090-4198-8575) 開設時のみ
比和地域	比和支所(85-3001)
	比和子育て支援センター(85-2608)

すくすく子育て広場（高野）

日 時：10月15日（火） 10:00~12:00

①天候やりんごの生育状況によっては変更あり
※小雨決行

場 所：大阪りんご園（現地集合）

参加費：持ち帰りのりんご代

参加申込：高野子育て支援センター ※8日（火）までに
090-198-8578（開設時のみ）

☆『りんご狩り』

自然の中で秋の恵みを感じましょう。

りんご狩りを体験し、採りたてをいただきます。

【郷土料理教室・口和】

日 時：11月上旬（調整中）

詳細については、住民告知放送などでお知らせします

場 所：口和老人福祉センター

参加費：実費負担

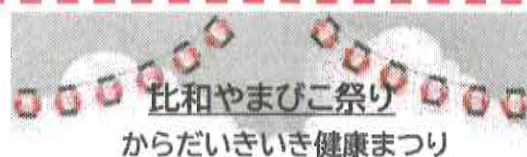
参加申込：口和自治振興区 0824-87-2213
口和子育て支援センター
0824-89-7070

地域の方から、昔ながらの料理を習いましょう。

※口和自治振興区との協力行事



8月27日に高野で離乳食教室を開催しました。初期の離乳食の
作り方や完了期の取り分け方法について栄養士さんから教わりました。



期 日：10月20日（日） 9:00~15:00
場 所：庄原市比和総合運動公園

☆おむつ替え・授乳コーナーを設置します。
ご利用ください。



※ご利用の際には、手洗、消毒をお願いします。体調不良の場合は利用を控えましょう。

第14回
口和健康
ふくし祭

わいわい フェスタ



高血圧予防キャラクター
「ショーショー鳥」

くらす幸せ

ちいきの笑顔

わたしの健康



糖尿病予防キャラクター
「腹ハッチー」

シルバーリハビリ体操

13:00~13:30



アトラクション

神楽

13:30~14:30



体力測定、骨密度測定などの
体験コーナー



各種 展示・販売コーナー



町内各種団体による
バザーコーナー



赤ちゃんや小さな子ども
さんがいても大丈夫。

- 授乳室コーナー
- おむつ交換室
- ミニ遊びのコーナー

コーナーでは必ず
保護者の付き添い
をお願いします。

いながきカイロハウス

骨盤調整 ☆☆☆ 無 料
ハド マッサージ ☆☆☆ 500円



カルチャースペース コスミー

アロマオイルを使った
ボディソープ
& ヘッドマッサージ用
オイルづくり
ソープ600円
オイル800円
各15名

令和6年

10月20日

雨天
決行

午前10時~午後3時

【会場】庄原市口和町向泉 934-4

口和自治振興センター

■主催/庄原市・口和自治振興区・庄原市社会福祉協議会

■お問い合わせ先/庄原市役所口和支所地域振興室市民生活係 ☎87-2112

【参加団体
(順不同)】

口和自治振興区/庄原市社会福祉協議会口和地域センター/口和子育て支援センター/口和地区民生委員児童委員協議会/みどり園保育所/聖慈保育所
口和そばの会/ふれあい共同作業所くちわ/ふくふく牧場/しょうばろストファミリークラブ/口和健康づくりの会/共同作業所ゆめのいえ/古梨-KORIN-
モーモーあいすらんど/口和ふれあい加工所/カルチャースペース コスミー/いながきカイロハウス/ゆかりの館/常定神楽継承団体 戸山会

第14回
口和健康
ふくし祭

会場案内図

口和自治振興センター

わいわいフェスタ

わいわいステージ

客席

見るコーナー

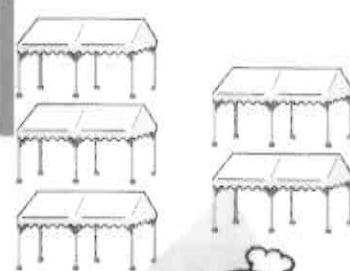
展示コーナー

体験コーナー



★タベルン

食べるコーナー



★ツクルン

食べるコーナー

10:00~14:00

- *手打ちかけそば (口和そばの会)
- *パン・焼き菓子 (古梨-KORIN-)
- *炊き込みご飯・フランクフルト・コーヒー (口和健康づくりの会)
- *ジェラート・カップアイス・プリン (モーモーあいずらんど)
- *放牧ジャージー牛のナチュラルチーズ (ふくふく牧場)
- *タイカレー・リングイッサ (しょうばらホストファミリークラブ)
- *もち・おむすび・おこわ・ぜんざい (口和ふれあい加工所)

見るコーナー

10:00~15:00

- *保育所園児の作品展示 (聖悠保育所、みどり園保育所)



★エラブン

展示と販売コーナー

10:00~14:00

- *木工作品 (ふれあい共同作業所くちわ)
- *手芸品 (共同作業所ゆめのいえ)
- *ピンクリボンキャンペーン (口和健康づくりの会)



★イギルン

ステージ

13:00~14:30

- 13:00~ シルバーリハビリ体操
- 13:30~ アトラクション 神楽 戸山会「伊吹山」

わいわい

10:00~15:00

- *わいわいクイズ (口和地区民生委員児童委員協議会)
- *遊びコーナー・子ども服のリサイクルコーナー (口和子育て支援センター)
- *子ども広場 (各種ゲーム)
- *アロマオイルを使ったボディソープ & ヘッドマッサージ用オイルづくり (カルチャースペース コスミー)
- *骨盤調整・ハンドマッサージ (いながきカイロハウス)
- *手相・その他占い (ゆかりの館)

10:00~14:00

- *ベジチェック
- *脳年齢測定
- *全身反応測定
- *閉眼片足立ち
- *身長・体重・体脂肪測定
- *骨密度測定
- *握力測定
- *前屈測定

体験コーナー



子ども広場



いろいろなゲームにチャレンジ!

子ども服のリサイクル

玄関ポーチ

貸出用車イス
押し車
置場

休憩コーナー



★ゲンギン

授乳
おむつ交換
ミニ遊びの
コーナー

控室

通路

トイレ

多目的トイレ

トイレ

わいわいクイズ (解答・賞品)

事務室

クイズに答えて
景品をもらおう

手相 (その他占い)

骨盤調整
ハンドマッサージ

アロマオイルを使った
ボディソープ &
ヘッドマッサージ用
オイルづくり



くらす幸せ
ちいきの笑顔
わたしの健康

P 駐車場は口和支所・口和自治振興センターです。

ふれあいひろば

口和クイズ 中国横断自動車道尾道松江線の口和インターが開通したのは何年だったでしょうか？

口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4
【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135
【メール】kuchiwajichi@gmail.com 【設立】2010.



公式HP



フェイスブック



インスタグラム



ライン

- ◆くちわタ涼み会
- ◆女性セミナー
- ◆市政懇談会
- ◆子育てポディーケア教室
- ◆山林救助活動訓練
- ◆ワールドブック交流会
- ◆被爆体験記朗読会
- ◆口和GG大会
- ◆台風10号で避難所開設
- ◆会議速報
- ・青年部会
- ◆9月の主な行事
- ◆地域マネージャー通信欄
- ◆おしらせ
- ・青年部交流会
- ・秋の美クリーン運動
- ・作品展
- ・図書館まつり
- ・創年大学講座（3回）
- ◆10月の行事カレンダー
- ◆口和クイズの答え

みなさまの投稿を
おまちしております

口和写真館



「中秋の名月@新月マルシェ」

口和データ

人口 11,708人（-40）

世帯数 748世帯（0）

令和6年8月末現在（増減：前年比）

夏の暑さを忘れるくらい口和で遊ぶ！「くちわタ涼み会」

“地元で楽しい思い出を作ってもらおう”と青年部が「地域へ呼びかけ新企画「くちわタ涼み会」を自治振興センターで開催しました。

来場者からは「久しぶりに口和でたくさんの元気な子ども達に会い嬉しくなった。」「スタンプラリーがおもしろかった！」「小さな子どもがいるので開催時間（土曜日の3時から6時）が参加しやすい。」と好評でした。（130人 8/31）



射的

スーパーボールすくい

バザーコーナー



防災クイズ

本のアンケート

スタンプラリー



子ども服のサイクル 映画上映会「フライ！」

ロビー展

協力に感謝♪
・満月マルシェ
・子育て支援センター
・ロビー展出展者
・ボランティアスタッフ

体操&ジャズ&おしゃべりで気分爽快『女性セミナー』

女性部が、地域の女性を対象とした女性セミナーを開催しました。「健康教室」では、こやま整形外科・内科クリニックの加藤貴史さんと大澤直子さんから肩や腰のストレッチを習い「音楽会」では、スイングナイツさんによる迫力あるジャズ演奏を堪能しました。参加者は「交流会」でセミナーで学んだこと、感想を話し合いました。（56名 9/1）



健康教室

音楽会

交流会

まちづくりで対話する『市政懇談会』

今年は「安心して住み続けられるまちづくりにむけて～庄原いちばんづくりの取り組み～」をテーマに市が事業内容や状況を説明。

会場からは「獣害対策」「災害時の対応」「コンパクトシティ構想における地域交通」「買い物困難地域対策」「婚活支援による過疎化対策」など様々な分野での質問があり、市と参加者で意見交換をしました。
(33名 8/23)



自分も大切に『子育てボディーケア教室』

いながきカイロハウスの稲垣孝治さんと稲垣由美さんを講師に招き、産後歪みやよくなる骨盤を整える体操や姿勢の大切さについて学びました。姿勢が悪くなると神経を圧迫し、体のあちこちに不調をきたします。

参加者は、姿勢をタブレットで分析してもらった後、自分の体に合った体操を習いました。

(6名 9/12 子育て支援センター)



【写真左】参加者の質問に答えながら体の仕組みを解説



【写真右】骨盤ケア体操とカイロプラクティック体験

『山林救助活動訓練』

消防署が広島市消防航空隊と連携し、山林での救助活動を想定した訓練を行いました。けが人を載せてスリス村の山林から飛び立ったヘリコプターは運動公園に無事到着。運動公園での機体見学には園児や多くの方が参加しました。
(9/13)



話して♪遊んで♪楽しく異文化交流

絵本やゲームで異文化に触れ合う「ワールドブック交流会」では、中国、フィリピン、イギリス、ナイジェリア出身の4名と口和の児童が、自国の絵本を朗読した後、それぞれの国の言葉でジャンケンをして遊びました。(32人 8/23)

- 洪艶さん(中国)「狐狸和烏鴉 キツネとカラス」
- シャロンさん(フィリピン)「Pagong at Matsing / ペンギンとマツティング」
- エイミーさん(イギリス)「I love you, My Mother」
- アマディーさん(ナイジェリア)「Are You My Mother?」



中国のジャンケン
「チャンダウ (刀) シトウ
(石) プー (布)」

アフリカとイギリスのジャンケン
「ロック (石) ベーバース (紙) シザース
(はさみ)」

フィリピンのジャンケン
「バトバトピック」

平和を願い原爆の悲惨さを語り継ぐ

口和本の会が、口和小学校と庄原市平和祈念式典で「被爆体験記」や「原爆詩」を朗読しました。



『第33回口和グラウンド・ゴルフ大会』



台風10号の影響で予定していた8月から延期の開催となりましたが、時折涼しい風が吹き抜ける運動公園で12チームがプレーしました。(9/5 スポーツ協会口和支部)
▶優勝:校会 準優勝:スリス村A 第3位:宮ノ畝クラブ ▶ベストスコアー:岡田勇治(男性) 盛川すま子(女性) ▶庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会出場:金田レディース(女性) 金尾原(男性)

『口和自治振興センターで避難所開設』

8月下旬、日本を横断した台風10号により庄原市でも洪水警報が発令され、口和自治振興センターで避難所が開設されました。台風だけでなくまだまだ不安定な天候が続いています。災害グッズの点検や建物の確認など日ごろから防災対策を心がけましょう。

会議速報

「どんなこと話しょうん？」

口和自治振興区で開かれた様々な会議のあれやこれやを抜粋してお伝えします

青年部会 9/11(水)

- 青年部交流会…10月5日(土) スイス村 モルック バーベキュー ※詳細は「おしらせ」コーナーへ
- 芸能祭前夜祭「くちわミュージックナイト」…11月23日(土) 自治振興センター
- 青年部会連絡用ライングループを作成



【9月の主な行事】

1日	女性セミナー	17日	健康マージャンサロン	26日	創年大学講座 第2回
5日	口和グラウンド・ゴルフ大会	18日	新月マルシェ	28日	土曜本の会
11日	青年部会	20日	ふれあいひろば184号	30日	組織検討プロジェクト準備会
12日	子育てポディーケア教室	20日	防災だより68号	口和地域未来塾 5日12日19日26日	
15日	休日開放図書館	20日	#口和が好き16号	配食サービス事業 11日 25日	

地域マネージャー通信欄

川上良美
(福祉事業担当)



●ニュースポーツで絆を深めましょう

各自治会のデイホームでは、健康講座や防犯防災の学習会や脳トレ、そしてレクリエーションとして、ゲイゴルゲームやポッチャ、最近ではモルック等を行っています。個人戦だったり二組に分かれての団体戦だったりしますが、ことに団体戦では両チームともかなり盛り上がります。

ゲームを通して参加者の絆が深まり、良好な人間関係が培われていくことを願っています。

福田豊明
(防災事業担当)



●救命処置豆知識シリーズ【第9弾】 蜂やへびに刺された時

蜂やへびは身近に潜む危険な存在です。刺されたり、噛まれたりした場合、適切な応急処置を施さないと、命にかかわる場合もあります。

今月の「防災だより」は、蜂に刺されたり、へびに噛まれた時の応急処置について発信します。この記事を参考に、いざという時に備えましょう。

積山道弘
(定住事業担当)



●くちわの家としょうばら空き家バンクの状況

9月14日(土)から広島市在住の方が「くちわの家」を利用され、庄原市への移住を検討されています。

また今月に入り、しょうばら空き家バンクの口和地域へ、新規物件が1件登録されました。引き続き空き家バンクの登録につきまして情報提供等ご協力をよろしくお願いいたします。

【口和地域の空き家バンク登録】8件(湯木4件 大月3件 竹地谷1件)

松本晋太
(情報発信担当)



●満月マルシェでお月見

先日、口和新月マルシェの会さんが大月で開催された、「満月マルシェ」におじゃましてきました。なんだか、今年は仲秋の名月の時期になっても少し蒸し暑い夜でしたが、お月さまはきれいにお顔を出して下さいました。暑いなかだったので、モーモ-あいすらんどさんのヒット商品「もみもみシェイク」を美味しく頂きました。

おしらせ

ワクワク♪ドキドキ♪が待っている

お気軽にご参加ください！

【青年部交流会】

日 時 10月5日(土) 10:00~14:00
会 場 スイス村(宮内)
参加費 2,000円(中学生以下:1,000円 未就学児:無料)
連絡先 口和自治振興区・青年部 87-2213
●モルック ●バーベキュー

【秋の美クリーン運動】

日 時 10月6日(日) 7:00
連絡先 口和地区公衆衛生推進会 87-2113
●道端のゴミ収集 ●ペットボトルキャップ回収

【作品展】

日 時 10月25日(金) 13:00
~27日(日) 15:00
会 場 口和自治振興センター(向泉)
申込み 9月30日(月) まで
連絡先 口和自治振興区 87-2213
文化協会事務局 090-3287-3050(五島)

【図書館まつり】

日 時 10月26日(土) 9:00~12:00
27日(日) 9:00~12:00
会 場 口和自治振興センター(向泉)
連絡先 口和自治振興区 87-2213
●しおりづくり ●図書館手帳プレゼント
●図書館カフェ 10/27(日)10:00~

【創年大学講座】

第3回 かけめぐり社会見学

日 時 10月31日(木) 集合8:00
行き先 熊野町(筆の里工房、三景園、空港 他)
参加費 2,000円
締 切 9月30日(月) まで
参加申し込み者へは10月中旬に案内ハガキをおくります。
対象者 口和在住で65才以上の方
連絡先 口和自治振興区・老人部 87-2213

10月の行事カレンダー

行事カレンダー



[] 内は、口和地域のゴミ収集日です。
★印…詳細は「おしらせコーナー」をご覧ください
日程は諸事情により変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
ハッシュタグ「#口和が好き」で情報発信中!		1 [燃えるごみ]	2 [その他紙類]	3 口和地域未来塾 [容器包装プラスチック]	4 行政文書 [燃えるごみ]	5 青年部交流会★
6 美クリーン運動★	7 ぬくもり会議 [プラスチック類]	8 [燃えるごみ]	9 配食サービス事業 [新聞]	10 口和地域未来塾 [容器包装プラスチック]	11 [燃えるごみ]	12
13 [施設開放日]	14 [燃えないごみ]	15 [燃えるごみ]	16 [その他紙類]	17 口和地域未来塾 [容器包装プラスチック]	18 行政文書 [燃えるごみ]	19
20 休日開放図書館	21 健康マージャン [ピン・カン 有番]	22 [燃えるごみ]	23 配食サービス事業 [ダンボール]	24 口和地域未来塾 [容器包装プラスチック]	25 作品展★ [燃えるごみ]	26 作品展★ 図書館まつり★
27 作品展★ 図書館まつり★ [施設開放日]	28 [ペットボトル 古葡]	29 [燃えるごみ]	30	31 創年大学講座★ 口和地域未来塾 [容器包装プラスチック]		

【口和クイズ】 答え (クイズは1面)

クイズ 中国横断自動車道 尾道松江線の口和インターが開通したのは何年だったのでしょうか?
答 え 2013年(平成25年)



2013年3月30日に口和インターチェンジが開通し、当時はウォーキングイベントや園児による踊りや中国雑技団などのステージが催され、大きな話題になりました。全線が開通したのは2015年です。

日頃の備えで支え合いのまちを

防災だより

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com

救命豆知識 「蜂に刺されたり、へびに噛まれた時の応急」

蜂やへびは、私達の身近に潜む危険な存在です。刺されたり噛まれた場合、適切な応急処置を施すことで、症状の悪化を防ぎ、早期回復に繋げることが出来ます。

以下にそれぞれの状況に応じた具体的な応急処置方法を紹介します。

1) 蜂に刺された場合

1. まずは、**あわてず、さわがず** その場からそっと離れる。

手で振り払ったり、走り回ると危険です。

ミツバチの仲間が刺すとまき散らす**攻撃フェロモン**や、スズメバチが**噴霧した毒の匂い**は周りの仲間を呼ぶ合図にもなるそうです。

日本では、毒へびによる被害よりも、スズメバチの攻撃による死者のほうが多いようです。

スズメバチは刺すだけでなく、**毒を霧のようにまき散らし、目に入れば失明**することもありますし、**呼吸器に入っても危険**です。



2. 水で洗い流す

蜂に刺された時、針が皮膚に残っていることがあります。

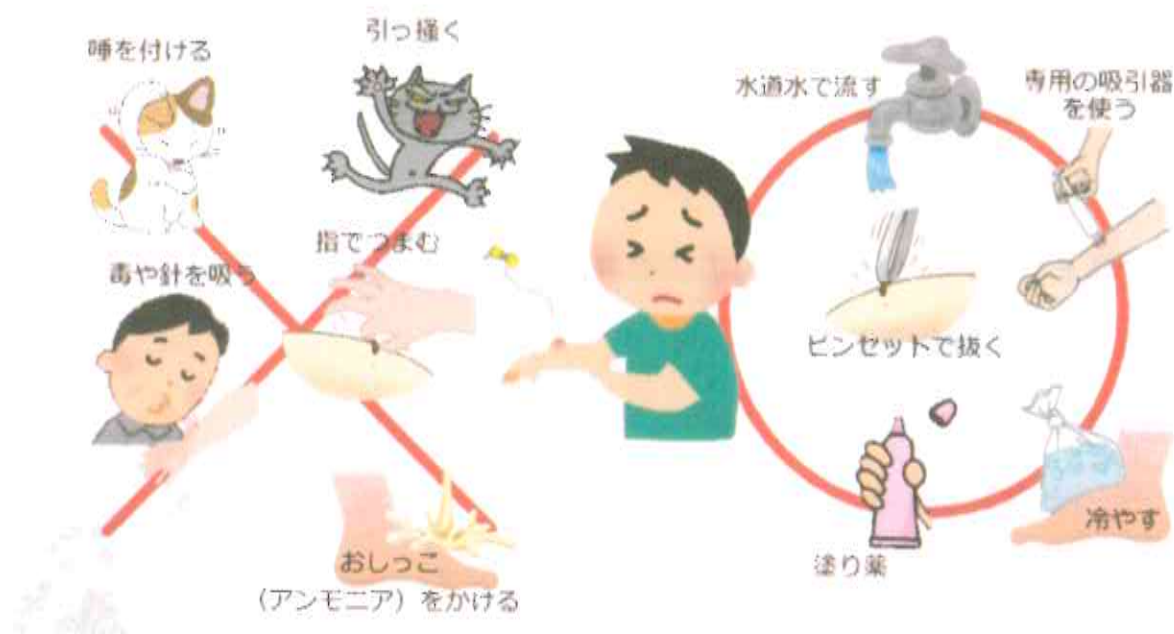
針が残っていれば**ピンセット**や**毛抜き**を使って**抜きます**。

指先で針をつまんだりせず、爪で弾いたり、クレジットカードで横に払ったりして取り除くのも一つの方法です。

針が残っているケースは、ミツバチに刺された場合のみです。

(ミツバチの針には、返しがありこれが邪魔をして抜けなくなる)

スズメバチ、アシナガバチは基本的に針が残る事はありません。



蜂の毒は水に溶けやすくなっているため、流水で流すことで症状を緩和することが可能です。毒を流水で洗い流します。

冷水や氷嚢で冷やすことで、痛みや腫れを抑えることができます。

口で局部から毒を吸い出す行為は口の中に傷等があったりすると、毒がそこから回ってしまうため、絶対にやめましょう。

アナフィラキシーショックの症状が現れた場合は、直ちに医療機関を、受診してください。

アナフィラキシーショックの症状

- ・呼吸困難
- ・じんましん
- ・顔面蒼白
- ・血圧低下
- ・喉の締め付け
- ・意識消失



3. 予防

- ・ 蜂の巣に近づかない
- ・ 香水や強い香りは避ける
- ・ 黒色の服は避ける
- ・ 振動を与える等急激な動作をしない

2]へびに噛まれた場合

へびに噛まれたときは、**毒へびかどうか判断**することが重要です。

毒へびに噛まれた場合は、適切な治療を受けないと死に至る場合もあります。

1. 日本の毒へび



「マムシ」



「ヤマカガシ」

本州～九州に生息するへびの中で、注意が必要なのは、「**マムシ**」と「**ヤマカガシ**」です。**ヤマカガシ**は1970年代頃まで**無毒扱い**されていましたが、その**毒性はとて強く**、コブラ科のウミへび類に近いことが報告されています。

2. 噛まれた時の応急処置

1. 安全確保

再び噛まれないように安全を確保します。

2 患部の安静

噛まれた部分を心臓より低い位置にし、患部をなるべく動かさないようにします。従来は、患部を縛ることで毒の回りを遅らせると考えられていましたが、実際には毒はリンパ液の流れに乗って広がり、患部を縛ったり、冷やしても効果はほとんどありません。むしろ、患部を縛ったり、冷やしたりすることで、血流が悪くなり、腫れが悪化する可能性があります。患部を縛ることは、近年、専門家からも推奨されていません。

傷口を清潔な流水で洗い流します。石鹼・消毒液は使用しません。(石鹼や消毒液の中には、毒の膜を破壊し、皮膚から体内への吸収を促進するものがあるため)

2. 医療機関の受診

マムシやヤマカガシなどの毒ヘビに噛まれた場合は、迅速な医療機関への受診が必要です。



3] 予防

- ・草むらや水辺に行くときは、サンダルではなく長靴を履く
- ・作業をするときは、ゴム手袋、長袖シャツ、ズボンを着用
- ・特に夜間はヘビが出没しそうな場所は避ける

蜂やヘビを見かけたら、刺激を与えずに距離を保ちましょう。

過去、蜂に刺されたり、ヘビに噛まれてアレルギー反応がある場合は特に注意が必要です。蜂に刺されたり、ヘビに噛まれた時は、適切な知識と迅速な対応によって、重症化を防ぐことができます。

本資料を参考に、ご自身の安全と周囲の方の安全を守りましょう。

もっと知りたい口和をお届け！ #口和が好き

情報発信を担当する地域マネージャー・松本が、深掘り取材で意外と知らない口和の魅力をお伝え!! インスタグラムやフェイスブックでも発信中!!

発行：口和自治振興区

〒728-0502 広島県庄原市口和町向泉 934-4

【電話】0824-87-2213 【Fax】0824-87-2135

【メール】kuchiwajichi@gmail.com



公式 HP



Facebook



Instagram



YouTube

家と食がつなぐ地域の輪

口和町永田

三河 功治(みかわ・こうじ)さん

真由(まゆ)さん

2023年、口和町永田に一軒の料理屋さんがオープンしました。完全予約制でメニューはおまかせのコースのみ。料金もそれなりにそれなりに、決してお安くはありません。しかし、そこで出会った料理たちは、店主が語る食材にまつわるストーリーと併せて、想像をはるかに超えており、「ここでこんなに凄い料理に出会えるとは」という驚きとともに、「料理ってこういうものなんだよな」と静かに興奮しながら改めて心に刻むのでした。

という訳で、今回は、昨年口和町永田に開店した料理屋さん「一柿」の店主である三河功治さんにお話を伺ってきました。

三河さんは、庄原の永末に生まれ育ちましたが、お母さんの実家である口和の一柿家には、幼い頃からよく遊びに来ていました。

お母さんは二人姉妹で、どちらも嫁いで家を出ていたので、三河さんのおじいさんである一柿俊明さんにとって、この家の跡継ぎがいけないことは気掛かりなことでした。そのため、口和に遊びに行った三河少年は、夜になるとほろ酔いのおじいさんからこの家の跡継ぎの話をよく聞かされていたそうです。

おじいさんの想い、そして「一柿の家」や口和に抱いていた親しみは、三河さんの頭から離れることなく、やがて「ここでなにかできないか」という想いが芽生えるのですが、具体的なカタチになるのは、もう少し先のことになります。



口和町永田の丘に建つ「一柿」

高校は東城に進み寮生活でした。若い頃は多くの人がこの先自分がどう生きていくべきか思い悩み、自分の様々な可能性を試す時期です。三河さんも最初から料理一筋という訳ではなく、いろいろな事への興味関心に溢れていました。

なかでも高校時代の三河さんは幼馴染とふたりで、当時開催されていた高校生の漫才大会「M-1甲子園」に出場し、広島県代表としてあの「NGK」こと「なんばグランド花月」の舞台に立ったことがあるのです。その後、コンビは解散しましたが、もしかしたらそっちの道に進んでいたかもしれません。三河さんの愛嬌のある人柄と饒舌なおしゃべりを聴いていると、NGKの舞台に立つ姿が容易に想像できて、深く納得してしまいました。

とは言え、もちろん料理にも興味はありました。そのきっかけになったのが漫画の『美味しんぼ』でした。特に、その第17巻にはワニ料理の回で竹地谷の「まんさく茶屋」さんが登場しているのを読んで、馴染みある口和が出ていることに三河少年激しく興奮しました。

「料理」と「口和」、そして「一柿の家」が少しずつつながりはじめ、高校卒業後に大阪の料理専門学校に進み、2年間学んだのち東京の和食店で働きはじめます。

東京に出てから6年経った頃、縁あってあるお店と出会います。それが、滋賀県にある「徳山鮓（とくやますし）」です。

現在、最も予約の取りにくいお店のひとつとして知られる「徳山鮓」は、琵琶湖の北にある余呉湖（よごこ）のほとりの料理屋さんです。店主自ら余呉湖で釣った鮓を使った「熟鮓（なれずし）」が有名で、その他にもジビエや地元野菜など、地元で採れた食材にこだわった料理が大変人気のお店です。

余呉湖の辺りは、関西のなかでもはずれのほうに位置するいわゆる田舎です。何も無いと言われがちですが、そこには美しい風景と美味しい食材があり、都会にはない豊かな時間が流れています。そんな場所にある「徳山鮓」に、そこでしか味わえない料理を求めて日本全国はもとより海外からもお客さんが足を運びます。

三河さんも、庄原で店を出すのであれば、全国から食材を揃えるのではなく、地元の食材にこだわった料理をしたいと考えていました。庄原や口和と同じように、何も無いと言われる地域にありながら、むしろ地域ならではの魅力に満ちた「徳山鮓」の世界に魅かれた三河さんは、迷わずその世界に飛び込みました。

今回の取材のなかで「一柿」のホームページのなかに「理（ことわり）を料（はか）る」という言葉を見つけました。「料理」という熟語を読み下したものだとはわかりましたが、意味がわからず、素人ながら調べてみました。

解釈は様々あるようですが、「物事をちゃんと理由をもって行う」ということのようにです。つまり「この食材はこういう素性のものなので、こういう調理方法がふさわしい」というが理由あって料理せんといけんよ、ということのようなのです。

食材は、何人もの人が関わることで料理になります。料理人はその最後の部分を担う存在で、それゆえに調理場にやって来るまでの過程をわかっていることで、その食材にふさわしい料理ができるのです。この食材は、どこで採れたのか、誰がどう関わってきたのかを知ることの大切さを考えると、改めてその食材が地元産であることの大切さが見えてきます。



余呉湖の風景

「徳山鮓」での「理（ことわり）を料（はか）る」日々のなかで、調理場のなかだけではない、その食材を育む土地の気候風土とそ

こにたずさわる人の大切さを学び、料理人三河功治の基礎が形作られました。

「徳山鮓」に住み込みで6年間学んだのち2019年に庄原に戻り、その年の暮れに口和に移住します。

そのとき、おじいさんの一柿俊明さんは介護施設に入られていましたが、「一柿の家に住む」と伝えることはできました。残念ながら、その翌年に俊明さんは亡くられますが、せめてお孫さんが家を継いでくれると聞いて、安心されていたことを願うばかりです。

ところで 2019 年と言えば、ご存知の通り翌年から新型コロナの流行が始まります。これによって大きな影響を受けた業種のひとつが飲食業で、ここで新規開業するにはとても難しい状況になっていきました。

しかし、その時期に庄原市内でふたつの事業が動き出していました。ひとつが「庄原市有害鳥獣処理施設」通称「庄原ジビエ工房」。もうひとつが「せとうち古民家ステイズ」です。

ご存知のように、庄原市内もイノシシなどによる農作物への被害が多発しており、この対策として駆除が行われています。「庄原ジビエ工房」は、駆除して終わりではなく、食肉などとして活用するための処理加工施設です。

地元食材へのこだわりという意味で、三河さんにとってジビエも重要な要素のひとつでしたが、このジビエを通じてのご縁もあり、庄原ジビエ工房でスタッフをするようになりました。現在でも非常勤職員をしています。

ジビエ工房には駆除されたイノシシなどが運ばれて来ますが、有害鳥獣による被害とは地元食材への被害ということでもあります。三河さんもこの「駆除」の部分でなにかできることはないかと考えるなかで、狩猟の資格を取ることができて、地域の捕獲班の一員としても活動できるようになりました。

今回初めて知ったのですが、「狩猟」と「駆除」は似て非なるもので、「狩猟」は決められた期間（広島県は11月から3月）のなかで自らすすんで行うものですが、「駆除」は鳥獣被害を減らすために依頼や必要に応じて行うもので狩猟の期間外でも活動することがあります。

「せとうち古民家ステイズ」は、古民家を全面的に改装して、一棟まるごと貸し出す宿泊施設で、庄原市内には3軒あります。

建物と設備の貸し出しのみなので、ホテルや旅館のようにスタッフがいるのではなく、基本的には泊まる方が自分で食事を用意するのですが、出張で料理を頼むこともできるのです。三河さんは、庄原に帰ってきたタイミングでこの出張料理人に就任。コロナ禍で人と人との接触が避けられるなか、家族や仲間内だけで泊まれるスタイルや古民家を大胆に改装した建物が注目されて人気になり、出張料理の依頼も順調に入ってきました。



せとうち古民家ステイズの建物

コロナ禍の影響でお店の開業は少し先延ばしになりましたが、そのかわりに「庄原ジビエ工房」と「せとうち古

民家ステイズ」に関わることで、地元での料理につながる仕事を得るとともに、人とのつながりも増え開業に向けての助走期間となりました。

そして、迎えた2023年。いよいよ自分のお店を開業します。店名はこの家の姓を継いで「一柿」としました。自分の好きな料理を通して、こころのなかにずっとあった「一柿の家」に再び明かりが灯りました。

三河さんの根っこには、いつも「一柿の家」があり「ここでなにかできないか」という思いがありましたが、ここにようやくひとつのカタチに実を結びました。

一柿



「一柿」のホームページ↑

ここにお店を開くにあたって欠かせなかったのが、口和、そして「一柿の家」がある深屋地区のみなさんが快く受け入れてくれたことです。

そこに暮らす、そこにお店を出すというのは、人生においてかなり大きな決断です。そこでやっていこうと決めるには地元を受け入れてもらい、その一員になれるかどうかは大変重要な要素です。三河さんはここで新たな一歩を踏み出せたのは、地域のみなさんのお陰だと本当に感謝しています。

おじいさんとそのご家族が綺麗な状態で残してくれた「一柿の家」。そのお陰で「料理」を通じてこの家を次の時代まで生かす道ができました。

そして、この「料理」は、駆除された有害鳥獣を食材にする、さらに駆除を通して産物を守り、それがまた「料理」につながるという、輪ができました。

もちろん、地元のみなさん、有害鳥獣駆除班のみなさん、ジビエ工房とそれに関わるみなさん、古民家ステイズのお客さん、などなど人の輪も広がっています。



地元食材をふんだんに使った「一柿」のお料理

今年5月。「一柿の家」には新たなご家族が加わりました。真由さんとのご結婚です。

真由さんは、三次市の出身で、三河さんとはジビエ工房で一緒に働く仲間でもあります。

真由さんは、庄原実業高校に通っていたころ、身近で起きている鳥獣被害の問題に関心を持つようになり、そこから狩猟にも興味を持ち、卒業後には狩猟免許も取得しました。

そんな経歴の持ち主なので、これはもううってつけの人材としてジビエ工房に誘われたのでした。

一方、真由さんはフォトグラファー（写真家）としても活躍していて、『めくりて』というフリーペーパーの製作に関わったり、自分の姿をきちんと残すための個人の記念写真撮影会を開催したりしています。

新たな家族も増えて、「一柿の家」は一層にぎやかになりました。おじいさんの想いはちゃんと三河少年の心に刻まれ、受け継がれていきます。これから先も、「一柿の家」を中心に、「食」を通じてこれからも三河さんの周りにはたくさんの方の輪が広がっていくことでしょう。

今夜も、わが家から見上げる「一柿」の客室には明かりが灯っています。



「一柿」の暖簾の前で